

東堂陽一 号外 議会便り 第7号 (1-7) 市内① 桜木①

平成17年 3月 17日発行

あつと言う間の2年間でしたが、皆様のご指導、ご協力のおかげで、無事議員としての任期を終える事ができました。ありがとうございました。4月1日には新掛川市がスタートします。新市長、新市会議員を選ぶ選挙も行われます。市民皆が力を合わせ、新市が順調に運営されますよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

I. 2年間の市政上のできごと

大東町、大須賀町との合併協議を進めた2年間、市制50周年にもあたり、更に榛村市政の収穫期にあたる2年間でもあり、多くのできごとがありました。

男女共同参画条例の制定に始まり、来る3月25日の環境資源ギャラリーの火入れ式までの間に、わかふじ国体の開催、さんりーなの開館、ならこ温泉の営業開始、東高の移転、100円バスの就航、駅前再開発ビルの検討、日坂バイパスの開通、道の駅の着工、すこやかの開園に始まる幼保一元化の動き、新エコポリスの造成完了、掛川バイパス無料化の決定、NPO体育協会の発足、大池プロジェクトの進行、大河ドラマ「功名ヶ辻」の放映決定、市制50周年イベントの断続的開催、そして「歩行文化・スローライフ・報徳文化都市」の宣言 などなどがありました。

これからは、都市間競争の時代とも言われます。これらを始めとする新掛川市の”資産”をいかに有効に活用するか、そして、いかに時代の要請に応えた施策が打ち出せるかがかぎになるとおもわれます。

II. 掛川市最後の議会

現掛川市最後の議会(2月定例会)が3月15日に終わりました。通算4回目の一般質問を行いました。順番は最後(6番目)で、掛川市最後の質問者となりました。その通告要旨は右ページの通りです。

一般質問通告要旨	議席番号	3	氏名	東堂陽一
----------	------	---	----	------

- 1 「テーマの豊かな魅力ある都市づくり」について市長の見解を伺う
(答弁：市長・教育長)
 - (1) 両立融合わがまちウエイ
 - ① 魅力ある都市の条件とは何か
 - ② 1月の「新掛川市建設へのアンケート」結果について
 - (2) 少子高齢化対策
 - ① 少子化が招く人口減少に対してどう対処すべきと考えるか
 - ② 子育て支援と少子化施策の体系的実施について
 - ア 意識調査はあるか
 - イ 当局の組織はどうあるべきか
 - ウ 子育て支援センターの増設における女性会議の提言について
 - エ 孫が幸せに暮らせるまちづくりとは
 - ③ 高齢化対策
 - ア 生涯現役という概念の導入について
 - (3) 行財政改革
 - ① 危機感は足りているか
 - ② NPM (ニューパブリックマネジメント) への取り組み
 - ③ 第三者機関の設置について
 - (4) 交通不便地域の高齢者の交通手段の確保について
 - ① 天浜線を含めた公共交通体系の検討・見直しの必要性
 - ② 交通不便地域を結ぶ、例えば(半定期)循環バスの検討